

既存のドアが自動施錠扉へ変身

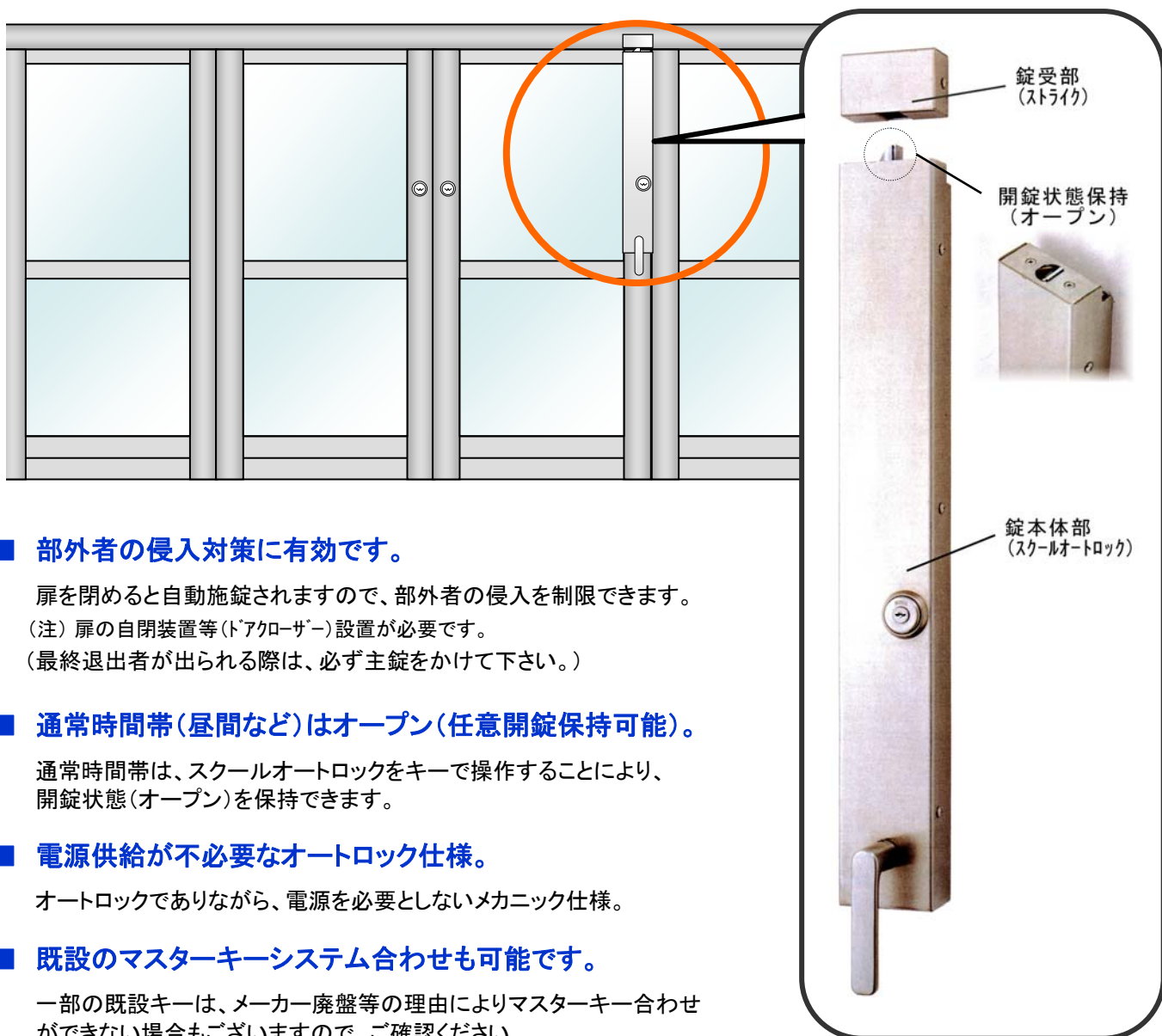


オートロック管理錠 **型式** SE-201L

■ 用途： 幼稚園 / 小中高等学校施設の職員通用口 / 児童施設出入口等

スクールオートロック

現在、職員の方々を悩ませている生徒玄関・職員玄関ドアの入校管理制限（授業中／放課後／夜間など）を解決します！



■ 部外者の侵入対策に有効です。

扉を閉めると自動施錠されますので、部外者の侵入を制限できます。

(注) 扉の自閉装置等(ドアクローザー)設置が必要です。

(最終退出者が出られる際は、必ず主錠をかけて下さい。)

■ 通常時間帯(昼間など)はオープン(任意開錠保持可能)。

通常時間帯は、スクールオートロックをキーで操作することにより、開錠状態(オープン)を保持できます。

■ 電源供給が不要なオートロック仕様。

オートロックでありながら、電源を必要としないメカニック仕様。

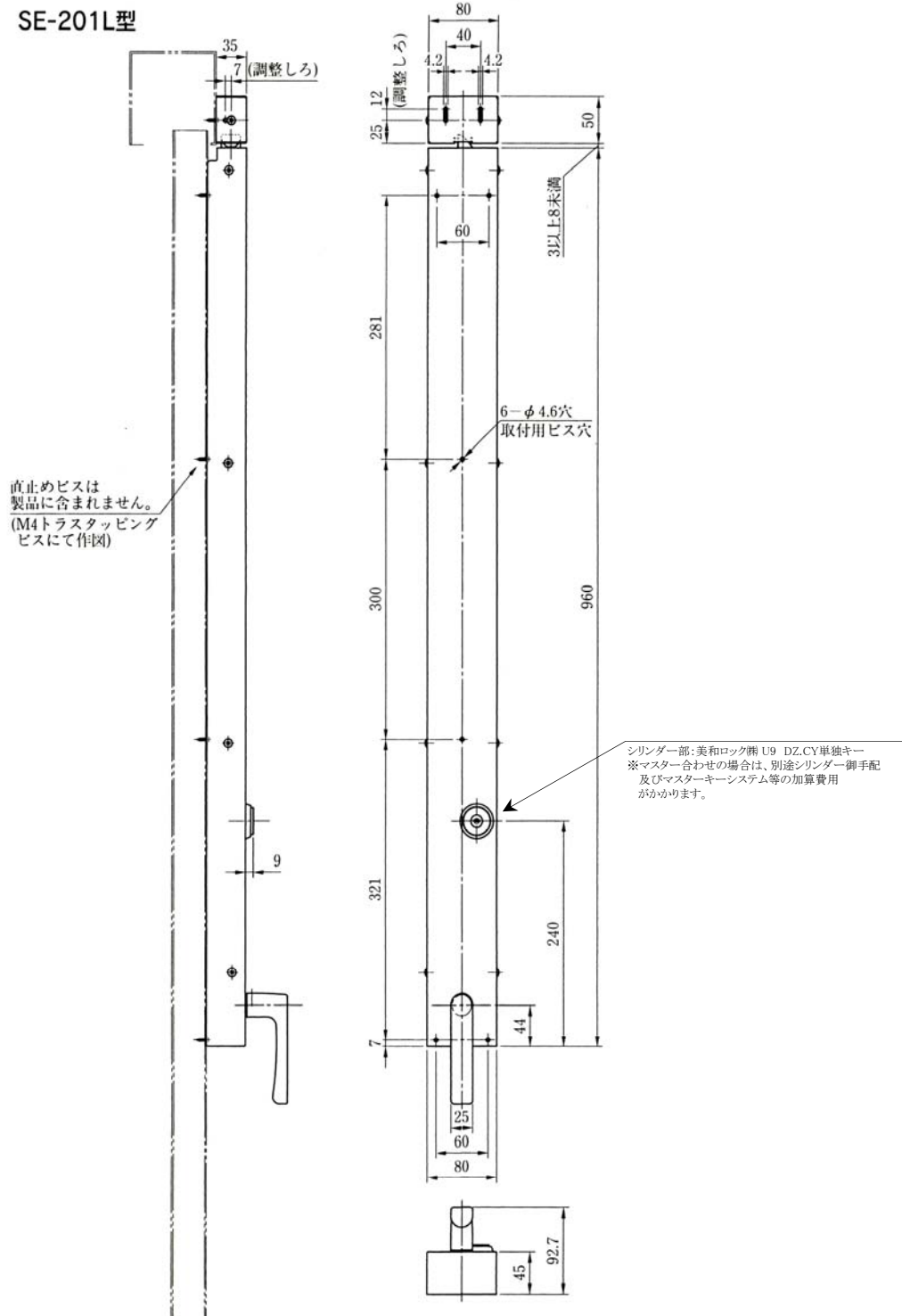
■ 既設のマスターキーシステム合わせも可能です。

一部の既設キーは、メーカー廃盤等の理由によりマスターキー合わせができない場合もございますので、ご確認ください。

※ 仕様・寸法等は裏面をご参照ください。

切込外観図

SE-201L型



(注)従来品のSE201型(錠本体=H600m/m)は、平成24年3月末日で完売(製造終了)いたします。今後につきましては、上記図のSE201L(錠本体H960m/m)をご用命いただけますようお願い申し上げます。



発売元

進栄ロックサービス株式会社

〒065-0017 北海道札幌市東区北17条東7丁目1-15

TEL:011-742-3961 FAX:011-742-3940

E-mail info@shineilock.co.jp

施工・販売

SE201L（スクールオートロック）操作説明書

本製品は、自動施錠と開錠保持する2つのモード切替が可能です。

1、自動施錠モード……引戸扉を閉扉しますと、自動的に施錠します。共用玄関の利用者が少ない時間帯（授業中・放課後など）に、当モードの運用を推奨致します。

※製品初期状態は、自動施錠モードとなっております。

◆ 自動施錠モード中の操作方法 …… 授業中／放課後など生徒の出入りが頻繁な時間帯ころ

①、開錠する時は、下方向に向いているレバーハンドルを約45度程度、左右どちらかへ廻して下さい。

* 錠本体上部の施錠を保持している錠掛り金具部（ラッチ）が、錠掛り受部（ストライク）から外れ一時的に開錠されます。

* レバーハンドルの廻す方向は、左右どちらの方向にも廻して開錠することが可能です。

尚、レバーハンドルの標準位置（ハンドルの向き方向）は、下方向に向いております。
開錠・開扉の際、レバーハンドルから手を放すと自動的に下方向（標準位置）に戻ります。

②、レバーハンドルを廻した状態（開錠された状態）のまま、引戸を開扉し通行して下さい。

* 錠掛り受部（ストライク）から外れ、開扉を開始された後は、レバーハンドルから手を外しても開閉扉は可能です。

③、通行された後は、閉扉して下さい。錠本体は、自動的に施錠されます。

* 錠本体上部の施錠を保持している金具部分（ラッチ）が、完全閉扉時に錠掛り受部へ入り込み施錠状態を保持します。

* 閉扉する際は、レバーハンドルが下方向に向いている事をご確認いただき、完全に閉扉して下さい。

2、開錠保持モード……開錠が保持され、自由な通行が可能です。共用玄関の利用者が多い時間帯（登校中・下校中等）に、当モードの運用を推奨致します。

※製品初期状態（施錠保持モード）から、キー操作で開錠保持モードに切替設定を行います。

◆ 開錠保持モードへの切替方法 …… 登下校の開始時刻ころ

①、切替する時は、下方向に向いているレバーハンドルを約45度程度、左右どちらかへ廻して下さい。

* 切替設定中の扉・錠は、開錠（開扉）又は施錠（閉扉）のどちらの状態でも構いません。

②、レバーハンドルを約45度廻した状態のまま、鍵穴（シリンダー）にキー入れ廻して下さい。

* 錠本体上部の施錠を保持している錠掛り金具部（ラッチ）が引っこみ、開錠状態を保持します。

◆ 開錠保持モードから、施錠保持モードへの復旧する切替方法 …… 登下校の終了時刻ころ

①、切替する時は、下方向に向いているレバーハンドルを約45度程度、左右どちらかへ廻して下さい。

* 切替設定中の扉・錠は、開錠（開扉）又は施錠（閉扉）のどちらの状態でも構いません。

②、レバーハンドルを廻した状態のまま、鍵穴（シリンダー）にキー入れ廻して下さい。

* 錠本体上部にある開錠を保持している錠掛り金具部（ラッチ）が突出し、閉扉時に施錠状態を保持します。